

2019 年度後期 授業改善アンケート集計結果に対する意見

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 山重 芳子

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目では、実施対象科目数 7 科目中 5 科目についてアンケートが実施されました。授業全体に対する評価である、項目 10「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」は 4.54 と高い評価を得ています。

項目 10 と強い正の相関関係がみられたのは、項目 9「この分野への興味・関心が引き起こされた」、項目 5「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」などで、適切に授業が運営されていると言えます。

用いられた授業手法に関するアンケート結果によると、グループワーク(回答率:60.8%)や外部講師招聘(43.2%)がキャリアセンター開講科目の特徴的な授業形態となっています。課題や、質疑応答、ディスカッション、プレゼンテーションといった授業手法も高い頻度で実施されており、学生の積極的参加を促す授業が実施されていることがわかります。ディベートや問題解決型授業が実施されている点も、キャリアセンター科目の特徴と言えるでしょう。

授業を通じて身についた資質・能力に関するアンケートからは、「この分野の知識、学力」(回答率: 62.2%)の他に「コミュニケーション能力」(52.7%)、「柔軟な発想力」(37.8%)、「協働力」(32.4%)について高い回答率が得られています。キャリアセンター開講科目が多様な資質・能力を育成するきっかけになっていると考えられます。「課題発見力」、「課題解決力」、「人脈形成力」、「統率力」などについても、大学全体と比較して回答率が高く、リーダーシップや行動を促す授業が展開されていると言えるでしょう。

以上